



解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。折りの生活をもって前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

2019. 2月第603号

発行所 アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町 567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

昨年4月に天に召された妹である。子の前夜式の時のことである。式の始まる直前、晴れ渡っていた空が、にわかにかき曇ったかと思うと、突然バケツをひっくり返したような雨が降ってきた。しばらくすると何事もなかったかのように雨は止み、現れた夕日とともに、一本の虹が、まるで天への架け橋のようにはつきりとかがっているではないか。「虹が出た」「てる子が虹を出しよった」という叫びとともに、私もあわてて教会の外に出て、その虹を見た。あれからまだ一年と経ってはいないのに、今や伝説のように語り継がれているが、これは作り話ではなく本当のことだ。

生前の彼女は、関西学院の神学部で教えながら、HIV感染者のカウンセラーとして、性的マイノリティいわゆるLGBTの人々の人権を守る運動を熱心に行っていた。彼女の葬儀は、葬式という名称ではなく「セレブレーションオブライフ」(命を祝う会)という名前で行われた。しかも、会場全体をレインボーカラーでおおいたという生前の彼女の願い通り、参列者はみんな喪服ではなく平服で来るという、いささか常識を超えたものであったが、しかし榎本栄次牧師の赤いジャケットに始まり、参列者それぞれが、思いのこもった色で、妹を送ってくれた。だが、さすがに本物の虹が出るとは、誰も想像していなかっただろう。あの日、集まった大勢の人の心の中には、きつとあの虹の景色が深々と刻み込まれたに違いない。まさに、そこには神様の深い深いご計画と約束が現れたに違いないと私は信じている。

瞑想

すなわち、わたしは雲の中に虹を置く。
これはわたしと大地の間に立てた
契約のしるしとなる。

創9…13

主幹牧師 榎本 恵

聖書の中の虹の意味は、「雲に乗って現れる神が携えていく」との間に交わされた、神の変わることのない契約のしるしなのである。ノアは地上のものすべてを飲み尽くす洪水の後、神からの言葉を聞く。「すなわち、わたしは雲の中に虹を置く。これはわたしと大地の間に立てた契約のしるしとなる」(創9…13)と。神はもう二度と、「水が洪水となつて、肉なるものすべて滅ぼすこととはしない」(創9…15)と

ある時は、一人取り残されその進む世界を見失い、またある時は、全幅の信頼を持って頼りにしていた者を亡くし、私たちは途方にくれ、混乱する。右を見て、左を向いても、前も後ろもただ雲ばかり。「私たちはこれからどうすれば良いのか」そんな真っ白の状態の中に、鮮やかな七色の光が差し込む。全く色のない世界に、無味乾燥の灰色の世界に、極彩色の光線が突如現れるのだ。それが神の与え給う約束なのである。友よ、新しい年、私たちは、この虹を見つめよう。世界はよりいっそう混沌とし、ますます混沌を深めるだろう。自然の猛威は、ノアの時を思い出させるような様相を呈している。しかしその中で、しっかりと語りかけてくださる神の声に聞くものとなる。雲の中に見えるものは、雲だけではないのだから。

「第39回 札幌アシラム」に参加して

佐々木春代

全道がブラックアウトに陥った胆振東部地震から2ヶ月後の、11月5日～6日に第39回札幌アシラムが開催され、そこには地震の生々しい記憶を抱えたままの、20名の友が集ったのでした。

9月6日未明、強く突き上げる震動に眠りを破られた私は、夜明



ご献金者
敬称略
10月追加分
植松貴美子
吉川 曜子
2口

ご献金者
敬称略

11月分

(クリスマス)

献金も含む)

金山 良雄

大隈 徳雄

大隈 哲造

中谷 輝雄

岩城 和子

橋本 和子

阪神

ミニアシラム

伊達 平和

植松貴美子

越智 千歳

上柳 京子

香川 孝子

佐賀 昭子

正岡リツコ

山田喜久子

吉田恵美子

吉川 和子

横山 宣和

後藤 二子

沖田 朝子

渡辺 玲子

渡辺 晋次

角谷 栄子

林 輝子

鱈谷扶美子

横田 輝子

工藤真知子

中村 和子

中村 恵子

春名 邦彦

川村 氏

無 公一

横引 公一

橋江美智子

ちひろ牧師

記念チャペル

夕礼拝

福岡聖書教室

山口 栄子

山田 秀穂

山田 恵子

山田 三子

亀井 義和

小林 子

大門 七子

垣花 敏一

西 正義

杉田 淑子

石崎 伴子

杉山 ミユキ

永田 京子

杉山 美理

渡辺 信治

大城 清子

河野 和子

岡本 進博

清水 寛子

榎戸 基

武曾 晴美

熊野 子

小田美津江

脇 萬里子

八千代

クリスト教会

小林 政和

けを待つて窓辺でローズンゲンを開き、その聖句に衝撃を受けました。

「わたしがあなたと共にいて助け、あなたを救い出す、と主は言われる。」エレ15:20

何と心強い御言葉でしょう。驚きと、深い感謝に包まれました。こんなに大きく深い安心感を覚えたのは初めての経験でした。きつと多くの友も、この日のローズンゲンの聖句に、励まされ慰めをうけたことではないでしょうか。

札幌アシラムに参加するようになって5年程の私ですが、この主にある交わりで与えられた恵みの豊かさを感じ、感謝の日々です。札幌では、毎月のミニ

アシラム、初夏の1日アシラム、そしてこの晩秋の1泊アシラムと集っております。

愛知アシラムに

初めて参加して

佐々木ちさ子

愛知一日アシラムに2回参加したことのある主人の勧めで、この度、初めて参加させて頂きました。開会礼拝において、岩波先生が信仰の福音(祝福)の鍵は、ルカ5章5節より、網を降ろしてみることですとお話されました。私はその後の静聴の時に自分にとっての網を降ろすとは何かを示され感謝でした。アシラムの「み

づいた親しい関係を実感しています。また広く全道から集う年2回のアシラムでは、ファミリーとの再会が楽しみでもあります。そして、毎回新しい参加者がある事も感謝で

す。今回のアシラムでは3名の新たな参加者がありました。毎年とはゆかなくとも続けて参加して欲しいと願いつつ祈っています。

(日本キリスト教会 札幌北部教会)



言葉を通し、与えられた恵みだけを語る。」たとえ間違ったようなことを言っている人があっても、主にお委ねする。「静聴とは、私が神様に近づくのではなく、神様が語って下さる。示されなくても感謝。」これらがとても素晴らしいなと思いました。今まで、神様からの語り掛けに耳を傾けるという心構えで聖書を読んでいなかったため、新鮮な思いがし

ました。恵みの時も素晴らしく、お一人お一人の恵みをお聞きすることで、恵みが倍增しました。この度、アシラムに参加させて頂いて、信仰を深めるための大切なことを教えて頂いた気がします。

臆病の霊ではなく

山川 暁

第43回京浜アシュラムの案内文書に、私はこう書かせていただきました。「京浜アシュラムは人のわざではなく、聖霊のわざであると信じています。ですから、聖霊に委ねた京浜アシュラムを目指します」と。

実行委員長を長年務

めて下さった村瀬俊夫先生から、突然、あとをお願いします、とバトンタッチのことはをいただき、私は正直のところ戸惑い、これは大変なことになった、と思いました。しかし、戸惑いつつ、こう思いました。これは村瀬先生を通して、イエスさまが語っておられるのだ、と。

大役を果たすため、私は祈りました。43回京浜アシュラムを、全てイエスさまの手に委ねし、と。祈りをとおして、パウロがテモテに書き送ったことが示されました。「神は私たちに臆病の霊ではなく、力と愛と慎みの霊を与えられました。」(Ⅱテモテ1:7)。事実、臆病の霊ではなく、力と愛と慎みの霊が与えられました。

そして、イエスさまは祈りをとおして、ルカの福音書から「イエスは御顔をエルサレムに向け、毅然として進んで行かれた」(ルカ9:51)の主題聖句を与えて下さいました。静聴箇所も10章、15章、17章、18章が示されました。

参加者の全員が、アシュラムの大切な原則、師はイエスさまだけを守り、み言葉を静聴しました。そこからイエスさまからの語りかけを体験することができました。そして、充満の時を迎えることが出来たのです。ハレルヤ！です。

(京浜アシュラム実行委員長・鶴川キリスト教会)



「神は私たちに臆病の霊ではなく、力と愛と慎みの霊を与え

ました。」(Ⅱテモテ1:7)。事実、臆病の霊ではなく、力と愛と慎みの霊が与え

第16回 国際正義平和アシュラム in 札幌

主 題：大地に響け、平和の調べ

主題聖句：「いと高きところには栄光、神にあれ、

地には平和、御心に適う人にあれ。」 ルカ 2:14

会 場：シャトレーゼ ガトーキングダム サッポロ

奉 仕 者：ジュランジール・柳原一蔵師(世界アライアンス教団理事長、在ブラジル)

《2日目の集い》 キャロルサック宣教師(リラブレカリア・祈りの堅琴 主唱者)

台湾原住民教会 皆様の讃美

アイヌの皆様方の歌



亀井ヨシ姉(82歳)〈写真左〉

(阪神アシュラムをずっと祈り支えてくださった)

昨年12月25日、天に召されました。

年頭アシュラムの待望祈禱にも朝7:30からお申し込みあり。きっと天上から後宮先生とともに祈り下さったことでしょう。

アシュラムは大いに祝され、なんと、ヨシ姉のお嬢様が参加されたのです！



第44回年頭アシュラムに、
元子姉妹(ヨシ姉の次女、後列右)
ご参加感謝！

阪神
アシュラム
イエス団
神戸教会
平和合同
祈禱会
井上 廣子
荒木 千博
藤田 和夫
藤田 直子
126口
¥2,361,108

ヨセフ基金
(義援金)
工藤真知子
無 名 氏
渡辺 玲子
川村 邦彦
永田 京子
岡田 洋子
柳沢ユキエ
ちいろば
アッちゃん・
シユラム君
無 名 氏
小川 宮子
米田 康子
小泉登江
吉田すみえ
阪神
アシュラム
井上 廣子
藤田 和夫
藤田 直子
17口
¥146,200

新修道場
のために
たびんちゅう教師
1口

会堂改築の
ために
嶺田 達明
1口

るつちゃん
るんるん福音食堂
のために
メヌエット
おばさん
1口

センター修
復のために
平山 秀雄
吉田 高明
小川八重子
藤田 和夫
藤田 直子
5口
¥33,000

合 計
151口
¥2,549,308

尊いご献金、
ご商品、お祈り、
お便り、電話
メッセージ、
そして、共に
アシュラム！
感謝いたします

樋口 洋一
中道 悦子
武田 米蔵
金田 健一
金田 和子
菅田 洋子
今村 芳雄
鈴木 静
流澤佐和子
津田長太郎
山岡 義明
沖田 和恵
河村 塚郎
榎本 恵
榎本 康子
榎本 光太
大坂聖書教室
千代 茂夫
鈴木 義夫
関根 諒子
岡村 諒子
仲地みどり
佐藤千乃子
川島 睦子
無 名 氏
三浦 俊二
野村 昌代
山川 明美
カフエ

ちいろば
聖書入門講座
大山 悠子
チャイム
コンソート
(池田
チャイムの会)
嶋岡谷三千代
村瀬 俊夫
瀬戸 昭
佐藤 智子
無 名 氏
明石シオン
小林 宮子
センター

聖書教室
米田 康子
米田 歌子
静岡聖書教室
安仲 萌子
石井 美雪
鹿屋
キリスト教会
七野 栄子
引原 勝美
東京聖書教室
土橋 敏良
山崎知恵子
黒見 妙子
湯野 静子
小泉登江
長谷川泰之
戸井 雄二
松村 玲子
山本 浩子
佐々木春代
尾崎 幹二
尾崎 恵
聖大浜
キリスト教会
吉田すみえ
雀部喜久子
向井 登治
向井 浩子
加々美 要
李 非玲
土屋 翠子
豊田千枝子

アシュラム修道場生活記

その23

「さだめ」

伊達 平和

生活の基準をどこにさだめるかという問題は、人生において大変重要である。神を基準として生きるか、それとも人を基準として生きるか。この決定をどうするかによって、その後の人生が大幅に変わってくる。口で言うのはたやすいが、これは本当に大変なことだ。アシュラムの友は「神を基準にして生きたいが、なかなかそうすることができない人々」の集まりともいえるかもしれない（もしかしたら筆者だけかもしれないが）。神を知らなければ、もしかしたら、私は今頃刑務所に入っているかもしれない、なんて時々思う。

ところで、アシュラム修道場で生活を始めた時のこと、初めにぶつかった「基準をどこにさだめるか」問題は、神さまのことではなく、早天祈祷会の時に歌う賛美歌の歌い出しの音、つまり曲の調性をどこにさだめるか、ということである。アシュラムセンターの早天祈祷会では『新生の歌』を使って朝の賛美をしている。筆者は合唱をずっとしており、テノールを歌っているの、早天祈祷会出席メンバーとともに、朝から気持ちよくハモることができるのは本当に幸せなことである。

合唱経験が長い筆者は、この「最初の音をとる」権力者はここではるつ子さんののだとすぐ気づいた。そしてるつ子さんは最初の音をだいたい3度下でとることも分かった。最初は、「なんでだろう」と思っていたが、何回か参加しているうちに、なるほど、「参加者にとって朝から高い音を歌うのはキツイから」ということらしい。例えば、新生の歌1番「いつくしみ深き」はヘ長調（ $\flat$ が1つ）だが、短3度下下げると、ニ長調（ $\sharp$ が2つ）になる。ヘ長調だと最高音は高いレの音だが、ニ長調にすると最高音はシの音になる。このように最初の音を下げると、みんなが歌いやすいというわけだ。

しかし、ここで問題が2つ発生する。1つ目は単純に、筆者は楽譜を譜面通りに読むのは得意だが、移調して歌うのが苦手だということだ。

朝一発目の音楽なのにうまくハモることができないのは、自分としては大変遺憾なことである。2つ目は、曲によっては短3度下ではなく全音下、あるいは長3度下になることだ。つまり、ヘ長調の「慈しみ深き」の場合変ホ長調（ $\flat$ が3つ）、あるいは嬰ハ長調（ $\sharp$ が7つ）になるので、そうすると、移調がややこしすぎて、どのように歌えばよいか分からなくなる。降参である。

筆者が混乱しているのを言わずして察知したるつ子さんは、しばらくは自分がいるときは原調でとってくれるようになった。また時々、最初の音を筆者に譲ってくれるようになった。しかし、そうすると他の参加者が辛そうだ。自分とるつ子さんがいる場合、どのように最初の音を始めるか、微妙な駆け引きがある。これが、知る人ぞ知るアシュラムセンター早天祈祷会名物（？）「調性争奪戦」だ。

ただしここ最近、争奪戦は起こっていない。何度も歌っているうちに、筆者が移調して歌うことに適応したからだ。どのようにしたら適応できるのか、これも詳しく書きたいが、紙幅の関係で割愛する。要はあまり「考えすぎない」ことである。抗おうとせずに、最初にさだめられた調性に身を委ねると、よいハーモニーを奏でる事ができる。

修道場の生活も同じである。ここでは、当初 $\flat$ 2つだろうと思っていたら、いつの間にか $\sharp$ が4つになっているようなことがある。それを無理にはねのけようとすると、逆にうまくいかない。時には、何も考えずに、さだめられたことに従って、受け入れる柔軟さも必要な、と感じている今日この頃である。



るつ子姉とのハーモニー。 $\sharp$? $\flat$?
(センタークリスマス聖書教室
アンナ祈りの家にて)

2018年12月25日

後宮俊夫牧師前夜式で語られた榎本恵牧師の式辞

私たちの敬愛する後宮俊夫牧師は、この23日のクリスマス礼拝の日の晩、松代夫人、ご家族とともに、楽しい夕餉をいただいたのち、日付も変わろうとする、深夜11時21分に天へ召されました。その最後の姿を看取られた、娘さんの森口とも子姉にお聞きしますと、ベッドの上で、何か起き上がろうとした形跡のあるまま、静かに眠るように召されていたそうです。まるで普段の何気ないお姿のまま、となりの部屋にでも行くかのように、天へ帰って行かれた後宮牧師。それは、神の国は、どこか遠いところにあるのでは無く、まさにそのすぐそばにあるということをお私たちに示しておられるようでした。

天に召される、2週間ほど前には、ごく親しい親戚とともに、淡路島へ小旅行をされ、また、16日の日曜日には、お孫さん、そして今年生まれたばかりのひ孫さんとも出会い、そして最後の晩餐は、大好きだったすき焼きをみんなで囲み、随分と大きな声で、敬和学院大学設立当時の苦労話をされ、その後本当にしばらくして、先ほど申しましたようにベッドの中から、どこかへ向かう様に天に帰られたのでした。

今から思いますと、全てが準備されていたかの様に、ことが淡々と進んでいった様に感じます。このことを生前信仰の友として歩まれた一人の信徒の方にお伝えしましたら、「まあ、神様は、最もふさわしい時に、ふさわしい形で先生を天にお連れになったんだわ」と言われましたが、まさにその通りであると私たち皆そう思うのではないのでしょうか。

私自身は、23日の深夜、静岡のホテルで就寝中に、その知らせを聞きました。主の御降誕を祝う日曜日のクリスマス礼拝を終え、翌日のイブの日を前にして、真っ暗な小さな部屋の中で、一人その知らせを受けた時、呆然といたしましたが、私の頭の中には、まさきに「巨星落つ」という言葉がよぎったのです。ご承知の通り、「三国志」のなかで、諸葛孔明が死んだ時、大きな星が流れたという故事に由来した言葉ですが、まさに後宮俊夫という、大人物が亡くなったことをそれが象徴すると思えたからです。しかし、しばしその暗闇の中で黙想し、いや違う。巨星は落ちたのでは無く、上ったのだと確信するに至ったのです。

偉大な人物、偉人の死を言い表す、この巨星



親戚揃って楽しい旅行。松代夫人故郷の淡路島へ。
(召天される10日程前)

「すべて神様が、して下さいました事！感謝!!」と後宮師

という言葉ではありますが、私たちここに集う一人一人の心の中に思い浮かぶ後宮俊夫という星は、決して歴史上の権力者やこの世の功なり名を遂げた人物のそれとは全く違うのではないのでしょうか。もちろん、その経歴には、日本海軍将校、また元日本基督教団議長、元敬和学園理事長などという、錚々たる称号があるにも関わらず、それとは真逆の偉大さを持っておられた後宮俊夫牧師を私たちは思い浮かべるのではないのでしょうか。最も小さなもの、最も弱いものと寄り添いともに生きようとする姿。そこにこそ本当の大きなものの姿である事を、後宮牧師は指し示していたのです。2000年前、エルサレムのヘロデの王宮の中に捜し求めたがみつからず、それとは真逆のベツレヘムの馬小屋の飼いの葉桶の中に見出した救い主の姿。はるか、東方から救い主を求めやってきた博士達を喜びにあふれさせたのは落ちた巨星では無く、その弱さや貧しさ、苦しさに寄り添う本当の救いを指し示す星だったのです。(つづく)



松代夫人（榎本保郎師の御妹）と
早朝、共に祈る時を大切に守り続けた。
(写真：2019.4. イースター 甲西伝道所にて)

2月の聖書教室など

1(金)	阪神ミニアシュラム (主恩教会 PM1:00)
9(土)	広野祈りの家 (兵庫県三木市志染 PM1:00)
11(月)	福岡聖書教室 (博多クリオコートホテル PM1:30)
14(木)	常任運営委員会 (アシュラムセンター)
17(日)	ちいろば牧師記念チャペルタ礼拝・愛餐会 (PM5:00)
19(火)	大阪聖書教室 (大阪クリスチャンセンター AM10:30)
20(水)	カフェちいろば聖書入門講座(京都・伏見区深草 PM1:30)
22(金)	センター聖書教室 (アシュラムセンター AM11:00)

2月のアシュラムなど

2(土)	第49回 呉アシュラム 榎本 恵師	0823-21-8571 日本アライアンス呉教会
25(月) 27(水)	台湾アシュラム(新竹)	048-789-1325 加々美美師

3月のアシュラム予定

1(金) 2(土)	ブラジルアシュラム 奉仕者 榎本恵師	
3(日) 5(火)	ルージャモスアシュラム(ブラジル) 奉仕者 榎本恵師	
9(土) 10(日)	ブラジリアアシュラム(ブラジル) 奉仕者 榎本恵師	
21(木)	第1回 茨城アシュラム 奉仕者 榎本恵師	New!! 03-3793-4624 山本悦子師

2019年4月以降のアシュラム予定

4月19～20日	第26回 三重アシュラム
4月29日	第22回 阪神1日アシュラム
5月2～4日	第27回 秋田・盛岡アシュラム
5月2～4日	第38回 関東青年アシュラム
6月15日	第1回 四国アシュラム (金田福一牧師記念) New!!
6月20～23日	たびんちゅ牧師と行く沖縄巡礼の旅・ 沖縄聖書教室
6月13～15日	第45回 加太アシュラム
7月15日	福岡1日アシュラム
9月9～11日	関東アシュラム
9月20～21日	新潟アシュラム
9月30～10月2日	第16回 正義平和アシュラム
10月7～8日	第43回 山陰アシュラム
10月9～11日	第7回 日光オリーブの里アシュラム
11月14～15日	第43回 阪神アシュラム

みことば

下妻シャロームキリスト教会牧師

山本 悦子

列王紀下22章～23章

「善き王ヨシヤ」

ヒゼキヤ王の死後、その子マナセが代わって王となりました。マナセは55年もの間ユダで王位にありました。彼は諸国の民の忌むべき慣習に倣い、主の目に悪とされることを行ないました。南北の王は次々と現れては消え、その興亡は絶え間なく続き、悪王たちによる戦いは退廃してゆくのです。

あゝ、何と嘆かわしいことでしょう。戦争のもたらす悲劇は筆舌に現わせぬむごいことです。

そんな時現れたのがヨシヤ王です。ヨシヤは主の目にかなう正しいことを行い、父祖ダビデの道をそのまゝ歩み、右にも左にもそれなかった。(列王記下22:2)

「彼のように全くモーセの律法に従って、心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くして主に立ち帰った主は、彼の前にはなかった。彼の後にも、彼のような王が立つことはなかった」(列王記下23:25)

殆んどが悪王であるのにこのヨシヤは善き王であり、ヨシヤの登場はホッとさせられます。

戦争の根源は欲であり、嫉妬であります。武器を持たずとも、現代も経済戦争が至る所で発生しています。主に従う者は欲や嫉妬から解放されねばなりません。

ソロモンの死後、南北に分かれての戦いは400年も続き、ヨシヤ王もやがてメギドにおいて悲しむべき死を遂げ、それを転機としてユダ王国は混迷衰退、ついに587年カルデヤ軍エルサレムの陥落とバビロン捕囚の悲劇をもって王国の歴史を閉じ、北イスラエルも721年に滅亡しました。偶像礼拝の結末です。

あとがき

新しい年を迎え、アシュラムセンターも年頭アシュラムの準備に追われています。しかし、今年の年頭は、大変寂しい年頭である。誌面にも載せているが、私たちアシュラムセンターの代表役員、常任運営委員長後宮俊夫牧師が、昨年12月23日に天に召された。クリスマス喜びの時に、大変辛い悲しい知らせが届いた。96歳という高齢ではあったが、大変元気で、その死の直前まで普通に生活されていたという。神様どうしてですかと、繰り言ばかりが口をつく。しかし、どんな人でもその肉体は滅ぶ。この地上からは消え去る。けれども、そこに残る確かなものがある。新しい年、後宮牧師の残してくれたものを思い起こしつつ、私たちは前進して行こう。「わたしとわたしの家は主に仕えます。」 (恵)